

## 長期停止火力のレートベース上の扱いについて

既に再稼働している(又は今夏に再稼働予定)の長期停止火力					
電力会社名	発電所・号機	出力	種別	運転年数	平成20年料金改定 レートベース上の扱い
東北電力	東新潟港1号機	35万W	LNG	39年	算入(届出時稼働中)
東京電力	横須賀1号GT	3万kW	軽油	40年	算入(届出時稼働中)
	横須賀2号GT	14万kW	都市ガス・軽油	4年※	算入(届出時稼働中)
	横須賀3・4号機	各35万kW	石油	47年	算入(届出時稼働中)
中部電力	知多第二2号機GT	15万kW	LNG	15年	算入(届出時稼働中)
	武豊2号機	38万kW	石油	39年	不算入
関西電力	海南2号機 (今夏稼働予定)	45万kW	石油	41年	算入(届出時停止中)
四国電力	阿南2号機	22万kW	石油	43年	不算入
九州電力	苅田新2号機 (今夏稼働予定)	38万kW	石油	40年	算入(届出時稼働中)

※設置は平成4年

## 再稼働までに2年以上かかる長期停止火力発電所

電力会社	発電所・号機	出力	種別	運転期間	停止年数	劣化状況及び必要な復旧期間等	平成20年料金改定 レートベース上の扱い
東京電力	横須賀5～8号機	各35万kW	石油	42～45年	2～7年	ボイラ伝熱管、タービンロータの腐食・劣化が著しく、材料手配から補修工事を含めて、2年以上必要。	5, 6号機 <b>算入(届出時停止中)</b>
							7, 8号機 <b>算入(届出時稼働中)</b>
中部電力	渥美1号機	50万kW	石油	30年	10年	ボイラ内部の発錆が進み、詳細な点検実施及び修理が必要、また低圧タービンの復旧には材料手配から修理まで、2年以上必要。	<b>不算入</b>
	尾鷲三田1号機	38万kW	石油	47年	4年	ボイラ過熱管の肉厚薄化が進み、材料手配から修理まで、2年以上必要。	<b>不算入</b>
	西名古屋1・2号機	各22万kW	石油	41年	7～13年 (H25廃止予定)	空気予熱器エレメント腐食等の修理が必要であり、平成25年度廃止。26年度に7号系列を着工予定。	<b>不算入</b>
関西電力	多奈川第二1・2号機	各60万kW	石油	34年	7年	主蒸気タービンロータ等の腐食、発錆が進み、材料手配から機械加工・組立・検査、終了までに3年程度必要。	<b>1/2算入(届出時停止中)</b>
	宮津エネルギー研究所1・2号機	各38万kW	石油	22年	8～11年		<b>1/2算入(届出時停止中)</b>
中国電力	大崎発電所1-1号機	26万kW	石炭	11年	5ヶ月	ボイラー火炉層内管が、摩耗減肉により強度上必要な肉厚限界まで達しており、設計・製作から現地工事まで3年以上必要。	<b>算入(届出時稼働中)</b>
四国電力	阿南1号機	13万kW	石油	49年	10年	ボイラー・タービン等の劣化損傷が著しく、広範囲の大型取替工事及び、老朽化した監視・制御装置の取替などで、2年以上必要。	<b>不算入</b>
九州電力	唐津2・3号機	38,50万kW	石油	41,39年	8年	チューブ全体に外面腐食が進行し、チューブ取替、また発電機については高経年によりコイル絶縁が劣化、コイル更新等により2年程度必要	<b>不算入</b>
	大分1・2号機	各25万kW	石油	43,42年	10年 (H24廃止予定)	ボイラー、風煙道の腐食が進み、設備劣化状況の詳細調査、部品調達、補修工事等に2年以上必要。平成24年度廃止予定。	<b>不算入</b>